

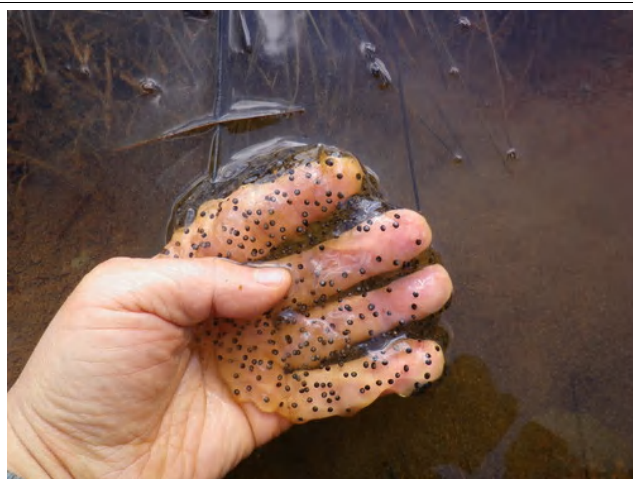
☆ 早春の湿地観察会を行いました(2月23日) ☆

今年は2月3日に初確認したアカガエル類の産卵。観察会の当日には60個以上の卵塊が見られました。アカガエル類は、まだ寒いこの時季に、水辺にやってきてたまごを産むカエルたちで、自然観察園ではニホンアカガエルとヤマアカガエルの2種類が見られます。

他にも、水の中をすくうとオニヤンマなどのヤゴやマツモムシ、クロゲンゴロウやオオコオイムシなどが見付き、寒い季節にも生きものはちゃんと生きていることが分かりました。水辺は多くの生きものを育む大事な場所ですね。



ヒヨセに産んでありました



アカガエル類の卵塊(らんかい)



この時季でも水の中には生きものが!



卵塊をバケットにとって観察中



オニヤンマのヤゴ(中央)など見つけました



ヒヨセで見つけたクロゲンゴロウ(左)